

【葛北中学校新人戦等 速報③…】

先輩たちの活躍に近付き、超えよう！

体育祭が終わってホッとする間もなく、この土日も、葛北新人戦や県新人大会が行われました。体育祭で完全燃焼したみなさんでしたが、それぞれ力を発揮して、結果を残してくれました。**サッカー部は決勝戦に臨み、流山東部中に四対〇の大差で完勝し、県大会への弾みをつけました。**また、陸上部では**京谷さんが走り高跳びで県新人大会優勝、男子リレーも六位入賞**を果たしそれぞれ南関東大会に駒を進めました。今週末からは、残りの部活が県新人大会を目指して戦います。この時期は、どの学校もチームとしてまだ完成されていないはず。最後は勝

利に対する気持ちの差が結果に表れるのではないのでしょうか。女子バレーボール部、男女バドミントン部、剣道部、それぞれ頑張ってください。吹奏楽は十二日（日）にキックオフマンアリーナにて中央大学吹奏楽部との合同演奏会に臨みます。流山市で初めて行われる大学生とのコラボレーションによる演奏会です。ぜひ応援に来てくださいね。

【応援の声から合唱の声へ…】

クラスの団結を見せるときです！

体育祭が終わって、次のみんなの目標は、まほろば祭での合唱コンクールではないでしょうか。体育祭ではシスターとしての団結が大きなポイントでしたが、今度は各クラスごとの団結を表すときです。体育祭とはまた違った表現が必要になるでしょう。私は担任をしていたとき、いつも合唱を大切な柱の一つとしていました。

楽器を演奏するには特別な技術がいりますが、合唱は声を出せばよい。得意不得意はあるかもしれないませんが、とにかく一人一人が精一杯歌うことで美しい響きが生まれるものです。歌詞や曲に込められた作者の思いをどう表現したらよいのか、一人一人がしっかりと考えて、指揮者の動きに合わせて表現する。ここにクラスの団結の様子が表されます。みんなで詩の意味を考え、表現の仕方を話し合い、実際に歌い込む中から何かを得られたらよいのではないかと思います。音楽の時間に指導してもらったことは勿論大切ですが、それ以上に、自分たちの思いを曲に乗せて発表してほしいと思います。南部中がなぜ「歌声」を三本柱として大切にしてきたのか、一生懸命に取り組んでいるみなさんならきっとわかるはず。次の目標、まほろば祭で素晴らしい合唱が聴けることを楽しみにしています。さあ、あと何回歌えるかな？

